

部 局 名	環境経済部
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針	・手賀沼の美しい環境の再生を目指し、千葉県や関係機関・団体と連携し、手賀沼の水質浄化や啓発に取り組みます。 ・手賀沼親水広場・水の館の運営では、手賀沼の水環境保全の関心を高める展示を行うとともに、環境保全型農業や地産地消等の農業拠点としての機能を含め、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与する施設としての活用を図ります。また、施設の長寿命化を図るため適切な管理を行います。 ・ジャパンバードフェスティバルは令和 7 年度に 25 周年を迎えることから、例年の実施事業に加え、記念事業の企画にも取り組みます。 ・第二次環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が連携した環境保全の取り組み、地球温暖化対策の事業を推進します。 ・「あびこエコ・プロジェクト 5」に基づき、市の事務事業が環境へ与える負荷の低減を図り、温室効果ガスの削減を進めます。なお令和 7 年度は、同計画の最終年度であるため、取り組み結果のとりまとめと評価を行うとともに、次期計画である「あびこエコ・プロジェクト 6」の策定を進めます。 ・谷津ミュージアム事業では、活動に参加している市民ボランティアの高齢化などの課題を踏まえ、これまでの取り組みを検証したうえで、今後の取り組み目標や実施体制の再考を進めます。 ・狂犬病予防の事務や愛護動物の適正な飼育に関する取り組みを進めていきます。 ・「一般廃棄物処理計画」「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を展開し、ごみの減量化と再資源化を図ります。 ・新廃棄物処理施設の売電収入の適正管理と運営事業者のモニタリングを行うとともに、放射性物質を含む焼却灰等の適正処理に努めます。 ・リサイクルセンターの整備事業者を選定するための準備を進めるとともに、令和 9 年度まで実施する土壌汚染対策工事を含む旧クリーンセンター解体工事に着手します。 ・大気汚染、土壌・地下水汚染、騒音、振動等の公害対策に取り組み、市民の快適な生活環境を守ります。 ・市民の不安を解消するため、全庁的な放射能対策の取りまとめを行います。 ・「農業振興基本条例」に基づき、農業の持続的な発展を図るため生産基盤強化及び生産性の向上を図り、安定した農業経営と持続可能な農業を目指します。 ・農業生産と農業経営に係る基盤整備を進め、経営として成り立つ農業の土台づくりを進めます。 ・認定農業者を増やすとともに新規就農者を含めた農業の多様な担い手を育成・支援します。 ・消費者、商工業者及び農業者の相互理解と交流を促進し、地産地消の事業を推進します。 ・「あびこエコ農業推進基本計画」に基づき、環境保全型農業の普及・促進を行います。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・手賀沼沿い農地の保全活用のための施策を展開します。・病虫害被害防止対策及び有害鳥獣被害防止対策、外来生物対策の推進を総合的に取り組みます。・各地区の農地の集積・集約を推進するため、地域計画の見直しを行います。・「商業観光まちづくり大綱」に基づき、事業集に挙げた事業に取り組み、持続的な商業観光振興を図ります。・商工会と連携し、商店会や事業者などへの支援を行うとともに、活性化に向けた取り組みなどを進めます。・農産物直売所アンテナショップ跡地をはじめ、観光資源である手賀沼を活用し、観光の振興や交流人口の拡大を図ります。・安全・安心で豊かな消費生活を送れるよう、消費生活相談などを実施し、消費者の支援を行います。・柴崎地区産業用地整備事業について、共同企業体から測量設計等を引き継ぎ、新たな整備手法の検討を進めます。・下ケ戸地区の産業用地整備については、産業用地創出における課題、有用性を整理し、国や県との協議にむけた準備を進めていきます。・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、NPO法人や我孫子市商工会などと連携し、起業創業の支援を行います。・民間活力により公園坂通りの賑わいの創出を図るとともに、地域経済の活性化につなげます。・既存企業の活性化に向けて融資制度等により支援を行うとともに、市民の就労に向けた支援を進めます。 |
|--|--|

部 局 名	環境経済部
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針 に対する総合 評価	・手賀沼の美しい環境の再生を目指し、千葉県や関係機関・団体と連携し、手賀沼の水質浄化や啓発に取り組みました。 ・手賀沼親水広場・水の館の運営では、手賀沼の水環境保全の関心を高める展示を行うとともに、環境保全型農業や地産地消等の農業拠点としての機能を含め、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与する施設としての活用を図りました。また、施設の長寿命化を図るため適切な管理を行いました。 ・ジャパンバードフェスティバルは令和7年度に25周年を迎えたため、例年の実施事業に加え、記念事業の企画にも取り組みました。 ・第二次環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が連携した環境保全の取り組み、地球温暖化対策の事業を推進しました。 ・「あびこエコ・プロジェクト5」に基づき、市の事務事業が環境へ与える負荷の低減を図り、温室効果ガスの削減に取り組みました。なお令和7年度は、同計画の最終年度であるため、取り組み結果のとりまとめと評価を行うとともに、次期計画である「あびこエコ・プロジェクト6」を策定しました。 ・谷津ミュージアム事業では、活動に参加している市民ボランティアの高齢化などの課題を踏まえ、これまでの取り組みを検証し、今後の取り組み目標や実施体制について検討を行いました。 ・狂犬病予防の事務や愛護動物の適正な飼育に関する取り組みを進めました ・「一般廃棄物処理計画」「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を展開し、ごみの減量化と再資源化を図りました。 ・新廃棄物処理施設の売電収入の適正管理と運営事業者のモニタリングを行うとともに、放射性物質を含む焼却灰等の適正処理に努めました。 ・リサイクルセンターの整備運営事業者を選定するための準備を進めるとともに、令和9年度まで実施する土壌汚染対策工事を含む旧クリーンセンター解体工事に着手しました。 ・大気汚染、土壌・地下水汚染、騒音・振動等の公害対策を行い、市民の生活環境を保全するよう取り組みました。 ・市民の不安を解消するため、放射線量の測定データの公表を継続するとともに、全庁的な放射能対策の取りまとめを行いました。 ・「一般廃棄物処理計画」「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づき、生ごみ処理容器の購入補助金制度や再資源化事業促進奨励金制度の施策を実施し、ごみの減量化及び再資源化に取り組みました。 ・「農業振興基本条例」に基づき、農業の持続的な発展を図るため生産基盤強化及び生産性の向上を図り、安定した農業経営と持続可能な農業を目指しました。 ・農業生産と農業経営に係る基盤整備を進め、経営として成り立つ農業の土台づくりを進めました。 ・認定農業者を増やすとともに新規就農者を含めた農業の多様な担い手を育成・支援しました。

- ・消費者、商業者及び農業者の相互理解と交流を促進し、地産地消の事業を推進しました。
- ・「あびこエコ農業推進基本計画」に基づき、環境保全型農業の普及・促進を行いました。
- ・手賀沼沿い農地の保全活用のための施策を展開しました。
- ・病害虫被害防止対策及び有害鳥獣被害防止対策、外来生物対策の推進を総合的に取り組みました。
- ・各地区の農地の集積・集約を推進するため、地域計画の見直しを行いました。
- ・「商業観光まちづくり大綱」に基づき、事業集に挙げた事業に取り組み、持続的な商業観光振興を図りました。
- ・商工会と連携し、商店会や事業者などへの支援を行うとともに、活性化に向けた取り組みなどを進めました。
- ・農産物直売所アンテナショップ跡地をはじめ、観光資源である手賀沼を活用し、観光の振興や交流人口の拡大を図りました。
- ・安全・安心で豊かな消費生活を送れるよう、消費生活相談などを実施し、消費者の支援を行いました。
- ・柴崎地区産業用地整備事業について、共同企業体と協定解除に関する合意に至ることができました。今後は、既存の計画に捉われず、継承する設計図書類を有効活用し、市の活性化に繋がる施策を展開することが必要と考えます。
- ・下ケ戸地区の産業用地整備については、産業用地創出を図るため、千葉県知事に要望を行いました。
- ・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、計画に沿って、実践創業塾や女性起業ラボなどの取り組みを実施しました。
- ・民間活力による公園坂通りの賑わいの創出については、立地的に厳しい部分があるものの、事業者により安定した運営がなされ、通年での賑わい創出を図ることができました。
- ・利子補給による中小事業者等支援については、昨今の金利上昇局面に合わせ、利子補給率上限を３％から４％に見直し、令和８年度以降も中小事業者等の支援を行えるよう制度を構築しました。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：手賀沼課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・第二次環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が連携して環境保全に取り組めるよう施策を推進します。

・手賀沼の水質浄化、水環境保全については、千葉県や流域市、関係機関、市民活動団体と連携し取り組みを進めます。

・手賀沼親水広場・水の館を適切に運営し、手賀沼の水環境保全への関心を高めるとともに、交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。施設の長寿命化を図るため適切な管理を行います。

・市民の皆さんに手賀沼や市内の身近な自然環境に関心をもってもらえるよう、環境学習や各種イベントを実施します。なお、ジャパンバードフェスティバルは令和7年度に25周年を迎えることから、例年の実施事業に加え、記念事業の企画にも取り組みます。

・谷津ミュージアム事業では、市民活動団体や個人のボランティア、専門家、農業者等と連携・協力して保全活動を行います。また、現状と課題を踏まえ、これまでの取り組みを検証したうえで、今後の取組目標や実施体制を検討します。

・地球温暖化対策では、「あびこエコ・プロジェクト5」に基づき市の事務事業が環境へ与える負荷の低減を図り、温室効果ガスの削減を進めます。なお令和7年度は、同計画の最終年度であるため、取組結果のとりまとめと評価を行うとともに、次期計画である「あびこエコ・プロジェクト6」の策定を進めます。

・狂犬病予防に関する事務および猫などの愛護動物の適正飼養の啓発等を行います。

2. 課の目標への取組結果

各事業についてはおおむね計画通り事業を実施できました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

・手賀沼浄化事業については、千葉県や国、流域市、市民活動団体等と連携し施策を推進しました。また手賀沼親水広場については、必要な保守・修繕を行い、運営事業者とも定期的に協議をして円滑に運営をしました。

・ジャパンバードフェスティバルやEnjoy!手賀沼などのイベントを予定通り開催し、来場された多くの市民に環境について考える機会を提供しました。

・谷津ミュージアム事業では多くの市民ボランティア、専門家等の関係者と連携を図り、谷津の保全活動を年間を通して実施しました。また中長期的な課題についても解決に向けた取り組みを始めました。

・地球温暖化対策では、あびこエコ・プロジェクト5の取り組みを進めるとともに、次期実行計画であるあびこエコ・プロジェクト6を策定しました。また、脱炭素化促進事業補助金により市民の省エネルギー・再生可能エネルギー化の取り組みを支援しました。

・犬や猫にかかる業務では市内の獣医師や市民団体とも連携しながら業務改善や課題解決を図りました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

各事業は引き続き実施していきます。中長期的な課題がある事業については、関係者と協議をしながら解決に向け必要な取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ジャパンバードフェスティバルの開催		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、ジャパンバードフェスティバルを開催し、環境保護を考える機会を提供するとともに、国内最大級の鳥の祭典としてその情報を発信し、自然環境の大切さをアピールしていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ジャパンバードフェスティバルの開催			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,220	0	令和5年度（年度末時点）	1.42 0.00
令和6年度	決算見込額	3,237	0	令和6年度（年度末時点）	1.25 0.20
令和7年度	当初予算額	3,220	0	令和7年度 4月1日時点	1.10 0.20
	補正後予算額	3,220	0		
	決算額	3,219	0	令和7年度 年度末時点	0.97 0.30
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	実行委員会の開催数	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	7		
成果 指標	来場者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
			実績値	0	25,000	36,000	25,000	36,000		
成果 指標	出展団体数	団体	目標値	170	170	170	170	170	170	170
			実績値	0	118	152	128	116		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	親水広場の運営・活用		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼親水広場・水の館では、水環境保全の啓発を進めるとともに、手賀沼の魅力を高めるさまざまなイベントの開催を通して、地域の活性化やにぎわいの創出を図っていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	エンジョイ手賀沼の開催			
	親水広場の運営			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	78,840	0	令和5年度（年度末時点）	1.25 0.06
令和6年度	決算見込額	81,398	0	令和6年度（年度末時点）	1.21 0.40
令和7年度	当初予算額	78,313	0	令和7年度 4月1日時点	1.15 0.40
	補正後予算額	79,635	0		
	決算額	77,166	0	令和7年度 年度末時点	1.15 0.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	エンジョイ手賀沼実行委員会実施回数	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	5	6	6	6	7		
活動 指標	プラネタリウムの番組更新回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4		
活動 指標	プラネタリウムコンサート、観望会の企画回数	回	目標値	8	8	8	8	8	8	8
			実績値	8	8	8	8	8		
成果 指標	エンジョイ手賀沼来場者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績値	0	4,800	10,000	10,000	10,000		
成果 指標	水の館入館者数（4～3月）	人	目標値	470,000	470,000	470,000	470,000	470,000	470,000	470,000
			実績値	488,265	492,933	482,095	459,729	432,629		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	環境基本計画の進行管理		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全		
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となっていて進めています。		
事務事業の目的 ・概要	環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため策定された我孫子市環境基本計画について、適切な進行管理を行っています。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	第二次環境基本計画の進行管理			
	環境審議会の開催			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.57 0.00
令和6年度	決算見込額	45	0	令和6年度（年度末時点）	0.56 0.00
令和7年度	当初予算額	108	0	令和7年度 4月1日時点	0.57 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.49 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	環境基本計画推進委員会の開催回数	回	目標値	2	5	—	—	—	—	2
			実績値	2	2	0	0	0		
活動 指標	第二次環境基本計画の進行管理	回	目標値	—	—	1	1	1	1	1
			実績値	—	—	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの推進	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となつて進めていきます。	
事務事業の目的 ・概要	・ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市域全体の温室効果ガス排出量と吸収量を的確に把握し、取組を推進していきます。 ・ 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減するため、市民や事業者へ環境にやさしい暮らしや事業活動に向けた環境意識を向上する取組を進めます。 ・ 公共施設での再生可能エネルギー利用、省エネルギー設備の導入を進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	あびこエコ・プロジェクトの推進	
		住宅用設備等脱炭素化促進事業	
		次期あびこエコ・プロジェクト（エコプロ6）の策定	
		熱中症対策（熱中症警戒アラートへの対応など）	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	16,285	0	令和5年度（年度末時点）	1.77 0.01
令和6年度	決算見込額	15,228	0	令和6年度（年度末時点）	1.82 0.00
令和7年度	当初予算額	13,303	0	令和7年度 4月1日時点	1.55 0.15
	補正後予算額	13,303	0		
	決算額	11,473	0	令和7年度 年度末時点	1.55 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	住宅用脱炭素化設備等補助件数	件	目標値	120	120	120	120	150	150	150
			実績値	125	148	195	190	157		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼の浄化・再生	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・手賀沼の水環境の保全を図り、かつての豊かな生態系の復活につなげるため、手賀沼の浄化対策を確実に進めるとともに、浄化再生に係る諸課題の解決に向けて、市民・事業者・行政が連携した広域的な取組を進めます。 ・手賀沼の浄化・再生に向けた啓発事業に取り組み、市民の手賀沼への理解と関心を深めていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	手賀沼情報の提供		
	クリーン手賀沼推進協議会の運営		
	手賀沼に係る湖沼水質保全計画（第9期）の策定に向けた提言		
	手賀沼ふれあい清掃の実施		
	手賀沼及び主要排水路の底質と水質管理		
	手賀沼水環境保全協議会(手水協)事業の推進		
	手賀沼流域フォーラムの開催		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,139	0	令和5年度（年度末時点）	1.41 0.80
令和6年度	決算見込額	4,868	0	令和6年度（年度末時点）	1.35 0.00
令和7年度	当初予算額	6,391	0	令和7年度 4月1日時点	1.28 0.10
	補正後予算額	4,658	0		
	決算額	4,323	0	令和7年度 年度末時点	1.40 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼情報の更新回数	回	目標値	16	16	16	16	16	16	16
			実績値	16	16	16	16	16		
活動 指標	手賀沼清掃・外来植物駆除事業の実施回数	回	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	2	2	3		
活動 指標	異常水質・底質の監視回数	回	目標値	7	7	7	7	7	7	7
			実績値	7	7	7	7	7		
活動 指標	手賀沼流域フォーラム全体会及び我孫子企画回数	回	目標値	15	15	15	15	15	15	15
			実績値	12	10	13	13	11		
活動 指標	クリーン手賀沼推進協議会事業の実施回数	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	6		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	環境学習の推進		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼の水質浄化や水環境の保全に関する意識啓発を図るため、市民に手賀沼や環境について学ぶ機会を提供するとともに、市民の環境保全活動を支援していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		新たな環境学習プログラムの検討と実施		
		手賀沼船上見学会の実施		
		環境年報の作成		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	482	0	令和5年度（年度末時点）		0.43	0.00
令和6年度	決算見込額	277	0	令和6年度（年度末時点）		0.54	0.20
令和7年度	当初予算額	331	0	令和7年度	4月1日時点	0.77	0.10
	補正後予算額	331	0		年度末時点	0.81	0.00
	決算額	184	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市が実施する環境学習事業の実施回数（船上学習、出前講座、星空観望会、谷津ミュージアム等での環境学習）	回	目標値	12	12	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	8	5	8		
活動 指標	船上学習・出前講座の実施回数	回	目標値	20	20	20	20	20	20	20
			実績値	20	20	18	15	18		
活動 指標	市が実施する環境啓発活動の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	古利根沼水質汚濁防止		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	古利根沼の水質汚濁を防止するため、浄化施設を適正に管理するとともに、市民の協力を得て水辺の清掃を実施します。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	古利根沼水質汚濁防止			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	14,018	0	令和5年度（年度末時点）	0.23 0.00
令和6年度	決算見込額	10,028	0	令和6年度（年度末時点）	0.21 0.00
令和7年度	当初予算額	13,018	0	令和7年度	4月1日時点 0.13 0.00
	補正後予算額	4,893	0		
	決算額	4,218	0		
	次年度へ繰越	0	0		
				年度末時点	0.21 0.00

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	古利根沼の水質・底質監視回数	回	目標値	14	14	14	14	14	14	14
			実績値	14	14	14	14	14		
活動 指標	中峠排水路浄化施設維持管理回数	回	目標値	8	9	9	9	9	9	9
			実績値	9	9	9	7	-		
成果 指標	古利根沼のCOD値(年平均値)	mg/L	目標値	9	9	9	9	9	9	9
			実績値	8	11	8.8	7.7	7.6		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	適正な生態系の維持	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	生態系への影響や農業などへの被害を防止するため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行うとともに、生態系へ及ぼす悪影響について広く啓発し、在来種の保護と新たな外来生物の移入防止を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	外来生物防除事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.23 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.27 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.88 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.53 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市内におけるウシガエル等の防除箇所	箇所	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1		
活動 指標	手賀沼における外来植物駆除活動回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	1	0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。 浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	谷津ミュージアム事業の推進		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区について、生物多様性を考慮した環境の保全・再生と次世代に伝えるための取組として谷津ミュージアム事業を進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	谷津ミュージアムの会の運営			
	谷津田の保全・再生事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,005	0	令和5年度（年度末時点）	1.41 0.00
令和6年度	決算見込額	5,476	0	令和6年度（年度末時点）	1.58 0.00
令和7年度	当初予算額	5,563	0	令和7年度 4月1日時点	1.03 0.00
	補正後予算額	5,261	0		
	決算額	5,131	0	令和7年度 年度末時点	1.23 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	谷津ミュージアムでの活動の延べ参加者数	人	目標値	900	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
			実績値	2,616	2,470	2,308	1,857	1,759		
成果 指標	谷津ミュージアム全体の二ホンアカガエルの卵塊数	卵塊	目標値	500	510	510	510	510	510	510
			実績値	232	357	308	322	405		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。 浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活環境に関する相談業務		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・さまざまな環境問題について、市民や事業者への注意喚起や啓発、情報提供を行うとともに、対策を講じて市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。 ・市民が良好な生活環境を保てるよう、犬や猫の適切な飼養を促すとともに、鳥獣や害虫に関する相談対応に取り組みます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	狂犬病予防事業			
	地域猫不妊去勢手術補助事業			
	地域猫活動団体との連携および支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,518	0	令和5年度（年度末時点）	0.52 0.79
令和6年度	決算見込額	1,127	0	令和6年度（年度末時点）	0.87 0.80
令和7年度	当初予算額	2,054	0	令和7年度 4月1日時点	1.04 0.65
	補正後予算額	2,680	0		
	決算額	2,139	0	令和7年度 年度末時点	1.21 0.80
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	狂犬病予防接種率	%	目標値	81	82	83	84	85	86	87
			実績値	79	81	76	75	75		
活動 指標	地域猫不妊去勢手術補助件数	件	目標値	20	21	22	23	24	25	26
			実績値	22	26	20	23	11		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：資源循環推進課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・「一般廃棄物処理基本計画」、「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を着実に実施していきます。また、循環型社会の形成に向け、市民、事業者、行政が協働し、ごみの分別を徹底するとともに、ごみの減量及び資源化に取り組みます。
- ・新廃棄物処理施設の売電収入の適正管理と運営事業者のモニタリングを行うことで、施設を安定的に稼働していきます。また、放射性物質を含む焼却灰の適正処理に努めます。
- ・第二期工事で予定しているリサイクルセンターの整備に向け、土壌汚染対策工事を含む旧クリーンセンター解体工事を行います。
- ・し尿・浄化槽汚泥処理施設の整備に向け、方針の決定、庁内の体制整備に取り組みます。

2. 課の目標への取組結果

各事業についてはおおむね計画通り事業を実施できました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

- ・ごみの減量や資源化を推進し、循環型社会の形成に寄与することができました。
- ・新廃棄物処理施設の運営を適切に行い、計画通りにごみを処理し、廃熱を利用した発電・売電を行うことができました。
- ・リサイクルセンター整備に向け、建設予定地となる旧クリーンセンターの解体工事に着手しました。
- ・し尿・浄化槽汚泥処理施設の整備に向け、庁内の体制整備に取り組みました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

大部分の事業については、計画通り進捗しており、今後も継続的に取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	不法投棄・路上喫煙防止対策事業		
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	不法投棄や自動販売機への回収容器の設置、野焼き、犬の糞害、歩きタバコに対する指導や監視、啓発活動を実施します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	不法投棄防止対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	229	0	令和5年度（年度末時点）		1.77	0.01
令和6年度	決算見込額	143	0	令和6年度（年度末時点）		0.30	0.00
令和7年度	当初予算額	606	0	令和7年度	4月1日時点	0.10	0.10
	補正後予算額	606	0		年度末時点	0.10	0.10
	決算額	479	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	不法投棄回収量	トン	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	5	2	1	1	3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好な生活環境を維持するため、定期的な不法投棄パトロールを実施し、環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や個別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止するため、今後も現状通り事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	新クリーンセンターの整備・運営	
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となっていて進めています。	
事務事業の目的 ・概要	・廃棄物を適正に処理するとともに、クリーンセンターで廃棄物を焼却した際の熱をエネルギーとして回収し、余熱を利用した発電などを行うことで地球環境への負荷低減を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物処理基本計画（令和5年度～令和14年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	新クリーンセンターの整備（環境影響評価事後調査）		施設の運転維持管理事業（焼却施設）
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	10,521	0	令和5年度（年度末時点）	1.42 0.00
令和6年度	決算見込額	422,253	0	令和6年度（年度末時点）	1.65 0.00
令和7年度	当初予算額	434,289	0	令和7年度 4月1日時点	1.60 0.00
	補正後予算額	434,606	0		
	決算額	430,663	0	令和7年度 年度末時点	1.60 0.00
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	新廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）整備事業の進捗率	%	目標値	55	100	-	-	-	-	-
			実績値	55	100	-	-	-	-	-
活動 指標	新廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）の円滑な運転稼働率	%	目標値	-	-	100	100	100	100	100
			実績値	-	-	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	令和5年4月より新クリーンセンターの本格稼働を開始し、おおむね計画通り施設を稼働することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市内で発生する一般廃棄物（可燃ごみ）の安定的な処理を継続するため、施設が円滑に運転できるよう引き続き事業を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ごみ減量と資源化の推進	
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となっていて進めていきます。	
事務事業の目的 ・概要	・環境への負荷を可能な限り減らすため、ごみの減量と資源化を進め、最終処分量の削減に取り組みます。 ・分別ルールの徹底やプラスチックごみの発生抑制、食品ロスの削減などについて啓発活動に取り組みます。 ・3 R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）の推進という観点から、市民がごみの減量や資源化に関することを体験しながら学べる機能などを有する資源化施設の整備を検討します。		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物対策基本計画（平成28年度～令和4年度）、第5次行政改革推進プラン（再資源化事業促進奨励金の見直し、ごみ収集の有料化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 資源化施設の整備		ごみ減量・資源化の啓発事業
	廃棄物最終処分手業		資源回収・処理・売り払い業務
	清掃手数料の徴収事業		焼却灰処理事業(放射能対策)
	剪定枝木等のチップ化事業（放射能対策）		震災廃棄物の放射線測定事業
	廃棄物処理計画の策定		施設の運転維持管理事業（焼却施設以外）
	し尿・浄化槽汚泥処理施設整備事業		
継続費設定事業	旧クリーンセンター解体及び土壌汚染対策工事 R7～9 1,662,870千円、旧クリーンセンター解体及び土壌汚染対策工事監理委託 R7～9 35,255千円、リサイクルセンター整備運営事業発注支援業務委託 R7～8 39,941千円		
債務負担行為設定事業	旧クリーンセンター解体及び土壌汚染対策工事 R6～9 1,662,870千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,424,682	0	令和5年度（年度末時点）	1.25 0.06
令和6年度	決算見込額	993,042	0	令和6年度（年度末時点）	5.55 1.20
令和7年度	当初予算額	1,421,012	0	令和7年度	4月1日時点 5.00 1.90 年度末時点 5.00 1.90
	補正後予算額	1,439,061	0		
	決算額	1,132,914	0		
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	クリーンセンター既設焼却炉の解体作業の進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	-	3	5	10	60	100
			実績値	-	-	3	3	10		
活動 指標	資源化施設の検討についての進捗率	%	目標値	-	100	-	-	-	-	-
			実績値	-	100	-	-	-	-	-
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	新たな資源化施設の整備については、建設予定地となる旧クリーンセンターの解体工事に着手しました。また、あらたな資源化施設の整備を行う事業者を選定するための委員会を設置し、発注に向けた業務をすすめています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	それぞれの事業を引き続き推進することにより、ごみの減量、資源化の推進及び施設整備に努めています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高度処理型合併浄化槽設置整備補助事業		
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	河川へ流入する生活排水を浄化するため、住宅への高度処理型合併浄化槽の設置を推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	浄化槽対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	14,736	0	令和5年度（年度末時点）		0.57	0.00
令和6年度	決算見込額	6,868	0	令和6年度（年度末時点）		0.91	0.00
令和7年度	当初予算額	16,832	0	令和7年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	11,914	0				
	決算額	11,173	0				
	次年度へ繰越				年度末時点	0.90	0.00

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	適正な審査に基づく補助金交付率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	市民の申請に応じて適正な審査を行い、補助金を交付することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	生活排水対策として引き続き高度処理型合併処理浄化槽の補助事業を推進します。

令和 7 年度
課の目標管理書

課 名 : 生活衛生課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

「一般廃棄物処理基本計画」や「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を着実に実施していきます。

循環型社会の形成に向け、市民、事業者、行政が協働し、ごみの分別を徹底するとともに、ごみの減量及び資源化に取り組みます。また、ごみを集積所まで出すことが困難なひとり暮らしの高齢者や障害者に対して支援します。

公害対策では、法に基づく公害や環境上で不快な状況の発生を防止するため、引き続き、地盤・土壌・地下水の保全対策や騒音・振動の防止対策を進めるとともに、大気汚染、水質汚濁を監視していきます。

放射能対策では、放射線量の測定のための機器の貸し出し、市民相談に引き続き取り組むとともに、要した負担を東京電力に求めています。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

全取組を滞りなく実施することにより、ごみ減量や資源化を推進し、循環型社会の形成に寄与することができました。また、自然環境・生活環境の保全に努めました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

循環型社会形成の推進を図るため引き続き事業を推進していきます。また、第二次環境基本計画に基づいた施策を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきま す。	
事務事業の目的 ・概要	ごみを集積所まで出すことが困難で、他に協力が得られないひとり暮らしの高齢者や障害者に対し、声掛けを行いながらごみを戸別収集することで生活を 支援します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	「高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業 R4～R8年度 46,052千円」「ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集業務委託 R7年度 11,102千円」		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	6,379	0	令和5年度（年度末時点）		1.50	0.00
令和6年度	決算見込額	11,111	0	令和6年度（年度末時点）		1.10	0.00
令和7年度	当初予算額	11,113	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	11,113	0				
	決算額	11,106	0		年度末時点	1.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	適正な審査に基づく決定率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	申請に対する適正な審査、利用者に対する適切な対応、当初の予定通りの計画の遂行ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢化が進み集積所へごみを排出できない市民が増加しており、引き続き必要不可欠な事務であるため、今後も、現状どおり事業を推進して いきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・概要	団地や学校、レジャー施設などの自家用の水道の設置者に対し、施設の布設工事や維持管理などが適正に行われるよう指導します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	32	0	令和5年度（年度末時点）		0.30	0.00
令和6年度	決算見込額	11	0	令和6年度（年度末時点）		0.35	0.00
令和7年度	当初予算額	11	0	令和7年度	4月1日時点	0.35	0.00
	補正後予算額	11	0				
	決算額	11	0		年度末時点	0.35	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	専用水道立入検査数	施設	目標値	16	16	16	16	16	16	16
			実績値	16	16	16	16	15		
成果 指標	基準を満たしている専用水道施設の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。年度途中で専用水道 1 施設が廃止となったため、専用水道立入件数の実績値が目標値に対して 1 マイナスとなっていますが、市内の稼働している全ての専用水道施設に立入検査を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	水道法に基づく専用水道、簡易専用水道、我孫子市小規模水道条例に基づく小規模水道（小規模専用水道、小規模簡易専用水道）の設置者に対し、施設の布設工事や維持管理などについて、飲料水の安全が確保されるように指導することは重要であり、今後も継続して指導を行い推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ごみ減量と資源化の推進	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となっていて進めています。	
事務事業の目的 ・概要	・ 環境への負荷を可能な限り減らすため、ごみの減量と資源化を進め、最終処分量の削減に取り組みます。 ・ 分別ルールの徹底やプラスチックごみの発生抑制、食品ロスの削減などについて啓発活動に取り組みます。 ・ 3 R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）の推進という観点から、市民がごみの減量や資源化に関することを体験しながら学べる機能などを有する資源化施設の整備を検討します。		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物対策基本計画（令和5年度～令和14年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	生ごみリサイクル補助事業		
	可燃・粗大ごみ収集事業		
	ごみ集積所の設置事業		
	排出指導対策事業		
	清掃手数料の徴収事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	297,530	0	令和5年度（年度末時点）		1.30	0.10
令和6年度	決算見込額	303,669	0	令和6年度（年度末時点）		0.90	0.60
令和7年度	当初予算額	299,924	0	令和7年度	4月1日時点	1.20	0.60
	補正後予算額	297,360	0				
	決算額	296,089	0		年度末時点	1.20	0.60
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	適切な審査に基づく、生ごみリサイクル補助申請に対する交付決定率	%	目標値	-	100	100	100	100	100	100
			実績値	-	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	申請に対して適正な審査に基づき、補助金の給付決定を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き推進することによりごみの減量及び資源化の推進に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	適正な生態系の維持		
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	生態系への影響や農業などへの被害を防止するため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行うとともに、生態系へ及ぼす悪影響について広く啓発し、在来種の保護と新たな外来生物の移入防止を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	外来生物防除事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.65 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.60 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.75 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.75 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市内におけるアライグマの防除箇所	箇所	目標値	3	3	3	20	20	20	20
			実績値	16	25	36	41	54		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	千葉県のアライグマ防除計画に基づき、引き続き適正な生態系の維持に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	典型 7 公害対策事業	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全	
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	清潔で快適な環境を維持するため、定期的な環境調査と個別の事業所などへの監視や指導を継続して行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	光化学スモッグ等監視・連絡業務		地下水環境調査
	トリクロロエチレン等地下水調査		道路交通騒音・振動調査
	羽田再拡張事業に関する業務		埋立て条例に基づく規制業務
	開発行為等事前指導		騒音・振動規制対策事業
	環境騒音調査		騒音・振動等測定器購入
	県環境保全条例に基づく揚水規制業務		
	法令・市条例に基づく悪臭規制業務		
	大気汚染防止冬期対策		
	地下水汚染浄化対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	8,179	0	令和5年度（年度末時点）	1.30 0.20
令和6年度	決算見込額	9,067	0	令和6年度（年度末時点）	1.10 0.20
令和7年度	当初予算額	10,705	0	令和7年度	4月1日時点 1.10 0.20
	補正後予算額	9,177	0		
	決算額	8,602	0	令和7年度	年度末時点 1.10 0.20
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	大気中の窒素酸化物環境調査の調査箇所数	箇所	目標値	40	40	40	40	40	40	40
			実績値	40	40	40	40	40		
活動 指標	トリクロロエチレン等地下水調査の調査井戸数	個	目標値	124	124	113	113	113	113	113
			実績値	125	118	106	108	110		
成果 指標	大気中の窒素酸化物環境調査の二酸化窒素の千葉県目標達成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	トリクロロエチレン等地下水調査の基準適合率	%	目標値	85	85	85	85	85	85	85
			実績値	70	88	83	80	82		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	これまで基準適合していた複数の井戸で基準超過となったため、目標は達成出来ませんでした。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	清潔で快適な環境を維持するため、引き続き取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活環境に関する相談業務	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全	
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・さまざまな環境問題について、市民や事業者への注意喚起や啓発、情報提供を行うとともに、対策を講じて市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。 ・市民が良好な生活環境を保てるよう、犬や猫の適切な飼養を促すとともに、鳥獣や害虫に関する相談対応に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市第2次放射能対策総合計画（H26.4～H28.3）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	福島第一原発事故に伴う放射能汚染問題への対応		
	公害苦情相談		
	蜂・害虫などの相談業務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,276	0	令和5年度（年度末時点）	1.35 0.30
令和6年度	決算見込額	1,565	0	令和6年度（年度末時点）	1.35 0.40
令和7年度	当初予算額	1,670	0	令和7年度 4月1日時点	1.15 0.40
	補正後予算額	2,321	0		
	決算額	2,119	0	令和7年度 年度末時点	1.15 0.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公害苦情処理件数	件	目標値	31	31	31	31	31	31	31
			実績値	33	22	35	35	42		
成果 指標	子どもが多く利用する施設等での放射線量の基準 （0.23マイクロシーベルト未満）の達成率	%	目標値	100	100	100	100	-	-	-
			実績値	100	100	100	100	-	-	
成果 指標	公害苦情解決率	%	目標値	95	95	95	95	95	95	95
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	手賀沼沿いでの空間線量の基準（0.23マイクロ シーベルト未満）の達成率	%	目標値	-	-	-	-	100	100	100
			実績値	-	-	-	-	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	苦情の件数が目標値より多くなっていますが、速やかに対応しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市民の良好な生活環境を保てるよう、引き続き取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	不法投棄・路上喫煙防止対策事業		
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	不法投棄や自動販売機への回収容器の設置、野焼き、犬の糞害、歩きたばこに対する指導や監視、啓発活動を実施します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	不法投棄防止対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	26	0	令和5年度（年度末時点）	1.15 0.00
令和6年度	決算見込額	17	0	令和6年度（年度末時点）	1.15 0.00
令和7年度	当初予算額	11	0	令和7年度 4月1日時点	1.20 0.00
	補正後予算額	11	0		
	決算額	9	0	令和7年度 年度末時点	1.20 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	不法投棄回収量	トン	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	5	2	1	6	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	不法投棄等を未然に防ぐため、不法投棄のバトロール等、関係機関各所と連携をとり、不法投棄を無くすよう取り組みます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：商業観光課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

「我孫子市商業観光まちづくり大綱」に基づき、効果的な施策の展開を図るため、大綱及び事業集に挙げた事業について、事業者や市民の参画のもとに取り組んでいきます。

商業の振興では、商工会と連携し地域の事業者とともに賑わいづくりに努め、商店街活性化事業補助金の活用推進により事業者の取り組みを支援します。

観光の振興では、令和6年度に導入したスマートサイクル及び観光ポータルサイトの利用を周知しながら、豊かな自然や歴史、文化など観光資源を積極的に活用し、観光客を呼び込み、もてなす環境づくりを進めます。特に、手賀沼観光施設誘導方針の変更を踏まえて、手賀沼を有効に利用しながら、交流人口の拡大を図っていきます。また、従前からのレンタサイクルやミニ鉄道も引き続き実施するとともに、インフォメーションセンター「アビシルベ」を活用し、我孫子の魅力や観光情報を市内外に向け発信します。

消費者トラブルの解決を図るため、相談の受付、苦情処理等に係る斡旋を行います。また、消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身に付けられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者への啓発や必要な情報の収集・提供をします。

各種イベントや出前講座などで石けん利用推進協議会委員と共に、環境にやさしい石けん利用推進の啓発活動に取り組んでいきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

特に、市制施行55周年記念事業として手賀沼公園ミニ鉄道のトンネル壁画を更新するとともに、11月15日から12月28日にかけて「白樺芸術祭ABIKO～過去・現在・未来～」を開催し、シビックプライドの向上を図りながら観光客を呼び込みました。

さらに、消費者トラブルに対する取り組みでは、啓発に力を入れるとともに、斡旋も積極的に実施し、高い解決率となりました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

商業振興における事業者支援、観光振興における来訪者の呼び込み、消費者啓発における自立支援などいずれも効果があったものと評価しています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

我孫子市商業観光まちづくり委員会に諮りながら、持続可能な商業振興、観光振興を進めていくことが重要と考えます。

また、消費者トラブルに対する取り組みも、近年増加傾向であるオンラインショッピングや不要な工事によるものなど、今後、さらに対応が必要と考えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消費者啓発事業		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－3 防犯対策の推進		
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	国民生活センターや千葉県消費者センター、千葉県弁護士会などと連携し、相談体制の確保、消費生活に関する知識の普及や情報提供などの啓発活動に取り組むことで、消費者被害の未然防止や早期発見、解決を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	消費生活相談事務			
	消費生活展の実施			
	消費者安全確保地域協議会設置の検討			
	全国消費生活情報ネットワークシステムの更新			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,692	0	令和5年度（年度末時点）	1.15 2.60
令和6年度	決算見込額	6,149	0	令和6年度（年度末時点）	1.05 3.40
令和7年度	当初予算額	11,753	0	令和7年度	4月1日時点 1.05 3.40
	補正後予算額	10,744	0		
	決算額	10,116	0	令和7年度	年度末時点 1.05 3.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	消費生活相談斡旋解決割合	%	目標値		90	90	90	90	90	90
			実績値	—	98	92.9	95.6	94.2		
成果 指標	消費生活講座参加者	人	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	95	46	106	68	84		
成果 指標	消費生活展参加者	人	目標値		800	800	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	182	516	587	591	732		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ほぼ順調に斡旋解決しました。また、消費生活展には市民の方の関心がより高まっていると推測され、過去5年間で最も多い参加者数になりました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	消費者トラブルの解決を図るため、相談の受付、苦情処理等に係る斡旋、生活相談員の研修参加、また、消費者自らトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者への啓発や必要な情報の収集・提供を進めて行きます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	商業活性化策の推進		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－3 商工業の振興		
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。		
事務事業の目的 ・概要	地域経済の活性化のため、商工会と協力して事業者同士の連携を促し、組織力が向上するよう、商店会や商工業者などの取組を支援するとともに、市内での消費を促していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市商業観光まちづくり大綱			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市ふるさと産品育成事業			
	我孫子市産業まつり			
	商業活性化策の推進			
	商工会育成事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	14,640	0	令和5年度（年度末時点）		1.50	0.00
令和6年度	決算見込額	16,012	0	令和6年度（年度末時点）		1.50	0.00
令和7年度	当初予算額	15,498	0	令和7年度	4月1日時点	1.50	0.00
	補正後予算額	14,754	0				
	決算額	13,492	0		年度末時点	1.50	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	「ふるさと産品」推奨品の品数	品	目標値		28	28	28	28	28	28
			実績値	26	26	26	26	33		
成果 指標	産業まつり 来場者数	人	目標値		16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
			実績値	中止	中止	中止	10,000	15,000		
成果 指標	我孫子市商工会の組織率	%	目標値		50	50	50	50	50	50
			実績値	46	46	46	45	46		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ふるさと産品は、マッシュルームイチバンや白樺派のひとさじキーマカレー、ぬまカレーなど、知名度や売上高のある商品が登録され、目標値を大きく上回りました。また、産業まつりはわずかに目標未達となりましたが、前年度の開催時に会場で募集した名前について、決定した「あびこ産業まつり」という名前を会場で発表し、大いに賑わいました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	物価高騰が続く中で、これまで行ってきた事業者支援を継続するとともに、我孫子市商業観光まちづくり大綱に基づいて、さらなる効果的な取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	観光振興策の推進		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼を中心としたさまざまな地域資源を活かして、市内外から多くの人が訪れ親しんでもらえるよう、手賀沼花火大会をはじめとするイベントの開催や誘客に寄与する環境づくりに努めていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市商業観光まちづくり大綱			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		観光振興策の推進		
		3市連携周遊事業		
		あびこカップまつり		
		手賀沼周遊レンタサイクル・ミニ鉄道運営事業（冬季試験運営、キャッシュレス決済の検討など）		
		手賀沼花火大会		
	指	農産物直売所アンテナショップ跡地活用		
		スマートサイクルの運営		
		白樺芸術祭		
		ミニ鉄道壁画制作		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	スマートサイクルの運営事業 R7～R8年度 8,058千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	23,681	0	令和5年度（年度末時点）	1.50 0.00
令和6年度	決算見込額	44,699	0	令和6年度（年度末時点）	1.50 0.00
令和7年度	当初予算額	36,682	0	令和7年度	4月1日時点 1.50 0.00
	補正後予算額	42,523	0		
	決算額	36,430	0		
	次年度へ繰越	5,057	0	令和7年度	年度末時点 1.50 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼周遊レンタサイクル・手賀沼公園ミニ鉄道運営日数（冬季試験運営期間を除く）	日	目標値		111	109	111	111	111	112
			実績値	95	100	97	102	78		
成果 指標	3市連携周遊事業 スタンプラリー応募者数	人	目標値		2,500	2,520	2,540	2,560	2,580	2,600
			実績値	中止	中止	4,083	1,084	1,663		
成果 指標	カップまつり来場者数	人	目標値		27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	27,500
			実績値	中止	7,000	8,000	8,000	7,000		
成果 指標	手賀沼周遊レンタサイクル・ 手賀沼公園ミニ鉄道利用者数	人	目標値		38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
			実績値	33,127	39,374	33,353	40,325	33,245		
成果 指標	手賀沼花火大会来場者数	人	目標値		150,100	150,200	150,300	150,400	15,400	150,500
			実績値	中止	中止	180,000	190,000	200,000		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	カップまつりは、酷暑の中の開催となったため、日中の屋外来場者が少なく、目標未達となりましたが、夕方からの大輪踊りは多くの来場者で賑わいました。また、手賀沼花火大会は例年以上の来場者となりましたが、大きな事故もなく安全に開催出来ました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	これまで行ってきた観光振興を継続するとともに、我孫子市商業観光まちづくり大綱に基づいて、持続可能な観光振興を目指し、さらなる効果的な取り組みを進めていきます。合わせて、3市連携周遊事業は引き続き柏市、印西市と連携して実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	観光情報の発信		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	多くの人に繰り返し訪れてもらえるよう、自然や歴史・文化をはじめとする市の魅力や観光情報をさまざまな方法で効果的に発信していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市商業観光まちづくり大綱			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	マスコットキャラクターの活用			
	我孫子インフォメーションセンター運営事業			
	自転車観光コンテンツの運用			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	24,361	0	令和5年度（年度末時点）		1.40	0.00
令和6年度	決算見込額	36,719	0	令和6年度（年度末時点）		1.40	0.00
令和7年度	当初予算額	34,656	0	令和7年度	4月1日時点	1.40	0.00
	補正後予算額	34,567	0		年度末時点	1.40	0.00
	決算額	34,374	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	キャラクターの着ぐるみ貸出件数	件	目標値		24	50	50	50	50	50
			実績値	0	33	43	47	58		
活動 指標	小さな旅パンフレット配布数（累計）	冊	目標値		5,000	10,000	15,000	—	—	—
			実績値		12,960	15,000	15,000	15,000		
成果 指標	我孫子インフォメーションセンター公式サイト年間アクセス数	回	目標値		53,600	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
			実績値	84,580	124,930	150,905	158,228	168,343		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	さまざまなイベントに着ぐるみの貸し出しを行い、シビックプライドの向上を図りました。パンフレットについては、在庫がなくなったことから配布が行えませんでした。あびこ魅力探訪サイクリングMAPなど、他のパンフレットにより補完しました。インフォメーションセンターサイトのアクセス数は、アプリやSNSとの連携など、積極的な情報発信により順調に推移しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	多くの貸し出しにより劣化の進んだ着ぐるみを更新しましたので、引き続き積極的な貸し出しを行います。また、インフォメーションセンターサイトのアクセス数については、目標と実績に乖離があることから、適切な目標値の検討を行います。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	石けん利用の推進		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	我孫子市石けん利用推進協議会委員の協力のもと、環境にやさしく安全な石けんを、各種イベントなどで啓発し、推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	石けん利用の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	114	0	令和5年度（年度末時点）	0.55 0.10
令和6年度	決算見込額	260	0	令和6年度（年度末時点）	0.45 0.10
令和7年度	当初予算額	180	0	令和7年度	4月1日時点 0.45 0.10
	補正後予算額	148	0		
	決算額	124	0		
	次年度へ繰越	0	0		
				令和7年度	年度末時点 0.45 0.10

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	石けん利用推進協議会開催回数	回	目標値		2	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2		
活動 指標	石けん利用推進対策審議会開催回数	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値	1	0	0	1	0		
活動 指標	イベントでの啓発参加回数	回	目標値		4	6	6	6	6	6
			実績値	3	4	7	8	9		
成果 指標	各種イベントでの啓発参加者	人	目標値		2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	—	3,010	1,972	2,410	2,301		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	予定通り実施しました。イベント等で石けんの使い方や環境との関わりについて啓発することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	あびこ産業まつりに参加するなど石けん啓発を推進し、環境及び身体にやさしい石けんの利用を進めて行きます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：企業立地推進課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・柴崎地区産業用地整備事業について、測量設計等の成果物を引き継ぐため、共同企業体と協定終了に向けた協議を進めていきます。また、我孫子市進出に興味がある事業者の意見を聴取しながら新たな整備手法の検討を進めていきます。

・下ケ戸地区の産業用地整備については、令和6年度に実施した「下ケ戸地区産業用地整備に向けた意向調査」を参考に産業用地創出における課題・有用性を整理し、地権者・関係機関と協議を進めていきます。

・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、NPO法人や我孫子市商工会などと連携し、起業創業の支援を行います。また、令和7年度からは、商工会の協力を得て日本政策金融公庫の創業者向けの融資メニューに対して支援が行えるよう制度拡充を図ります。

・市内小規模事業者の支援では、商工会を通じて展開している日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資について、市内小規模事業者の発展のため、活用がしやすくなるよう拡充を図ります。

・中小企業資金融資については、貸付金利上昇局面において、市内中小企業が安心して資金調達ができるよう市の利子補給方法を一定利率による支給方式から、支払い利子に連動する方式に変更します。

・「アビソンシュガーガーデン」の運営事業者と連携し、公園坂通りの賑わいの創出を図るとともに、地域経済の活性化につなげます。

2. 課の目標への取組結果

・柴崎地区産業用地整備事業については、協定解除に係る合意書を締結しました。

・下ケ戸地区の産業用地整備については、千葉県からも助言を受けながら活用方法の検討を行いました。また、企業向け展覧会に参加し民間事業者の需要調査を行いました。

・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、創業者及び創業を予定する者に支援を行いました。

・市内小規模事業者の支援では、商工会を通じて展開している日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資制度を拡充したことにより活用事業者が増加しました。

・中小企業資金融資については、金利上昇局面において支援が行えるよう利子補給率の上限の見直しを行いました。

・公園坂通りの賑わいの創出事業に関しては、審議会を開催し令和8年度に実施する中間評価の方式に関して道筋を立てました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

柴崎地区産業用地整備に関しては、共同企業体の撤退により、今後の見通しは立っていない状況ですが、共同企業体が作成した設計図書類に関して、有償で引き継ぐため、協定解除に係る合意書を締結することができたことにより、設計図書類を活用した新たな活用方法の検討に関して道筋を立てることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

依然として、市内において活用可能な産業用地は皆無に等しいため、早期に活用可能な小規模な土地、産業用地整備に時間を要する大規模な土地など、その形態を問わず、民間事業者が活用・進出できる施策を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり（住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備）		
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－1 企業立地の推進		
	施策の展開内容	企業立地を推進することで、新たな雇用の場を創出し、職住近接による定住化を図ることで恒久的な財源を確保するとともに、住工混在の解消や地域産業の活性化、既存企業の流出防止に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、産業用地を創出し、企業誘致や住工混在の解消などに取り組みます。 ・企業立地を促進させるため、新規立地による設備投資及び雇用を創出する企業に対して支援を行うとともに、再投資により事業の拡大及び雇用の拡大を図る既存企業に対して支援を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	柴崎地区産業用地整備事業		
		オフィス開設等促進補助事業		
		企業立地促進補助金交付事業		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	柴崎地区産業用地公共基盤施設建設負担金 R4～R8 462,462,000円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,484	0	令和5年度（年度末時点）	1.70 0.00
令和6年度	決算見込額	5,175	0	令和6年度（年度末時点）	1.70 0.00
令和7年度	当初予算額	6,652	0	令和7年度 4月1日時点	1.60 0.00
	補正後予算額	7,582	0		
	決算額	5,946	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	1.60 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業に係る土地利用計画（案）策定の進捗率	%	目標値		100	100	100	－		
			実績値		0	20	50	－		
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業に係る関係機関との事前協議進捗率	%	目標値			100	100	－		
			実績値			50	80	－		
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業の造成工事進捗率	%	目標値					－	－	－
			実績値					－	－	－
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調とはいえない	事業主体である共同企業体から事業撤退の意向が示され、今後の事業の先行きが見えない状況となりました。 基本協定解除の合意書を共同企業体と締結しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	計画地における盛土層など課題を踏まえながら、新たな活用方法を検討していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	就労支援・雇用環境の充実	
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－2 就労支援の充実	
	施策の展開内容	関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・「我孫子市地域職業相談室」において、求人情報を提供するとともに職業相談などの支援を行います。 ・働きやすい職場づくりを事業者に促すとともに、雇用環境の充実を図る事業者に対して支援を行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	地域職業相談室の運営		
	就労支援事業		
	中小企業退職金共済掛金補助金		
	障害者雇用の奨励金		
	地域職業相談室の移転		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	6,452	0	令和5年度（年度末時点）		0.40	1.05
令和6年度	決算見込額	6,300	0	令和6年度（年度末時点）		0.50	1.05
令和7年度	当初予算額	2,646	0	令和7年度	4月1日時点	0.50	0.70
	補正後予算額	2,322	0				
	決算額	2,232	0		年度末時点	0.50	0.70
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	中小企業退職金共済掛金補助金の交付件数	件	目標値	85	90	95	80	80	－	－
			実績値	70	63	58	63	129	－	－
活動 指標	障害者雇用促進奨励金及び障害者職場実習奨励金の交付件数	件	目標値	11	12	13	6	3	2	1
			実績値	8	9	17	4	6		
成果 指標	我孫子市地域職業相談室の月平均利用者数	人	目標値	400	340	340	400	400	400	400
			実績値	319	299	399	319	344		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	市の財政緊縮の方針に沿って、中小企業退職金共済掛金補助金を廃止しました。 地域職業相談室では、目標は達成していないものの前年度を上回る利用がありました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	財政緊縮の方針に基づき、引き続き、障害者雇用関連補助金について段階的に廃止していきます。 地域職業相談室では、利用しやすい場所にあるという立地的特性を活かし、ハローワークと協力して利用増に向けた取り組みを行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	中小企業の支援		
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－3 商工業の振興		
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。		
事務事業の目的 ・概要	地域に根差した事業者の経営の安定や事業の発展のため、中小企業に対して資金の貸付けや利子補給など社会状況の変化や経営状況に合わせた支援を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	中小企業への資金融資			
	永年勤続表彰			
	小児科支援資金利子補給			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工 (Plan&Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	131,038	0	令和5年度 (年度末時点)		0.50	0.35
令和6年度	決算見込額	130,760	0	令和6年度 (年度末時点)		0.50	0.35
令和7年度	当初予算額	132,672	0	令和7年度	4月1日時点	0.60	0.10
	補正後予算額	128,254	0		年度末時点	0.60	0.10
	決算額	128,113	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	我孫子市中小企業融資制度による利子補給件数	件	目標値	310	315	320	200	200	200	200
			実績値	179	164	147	133	115		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	金利上昇局面にある中において、引き続き事業者に必要な支援が行えるよう、利子補給上限を3%から4%に見直し改正を行いました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、金利上昇局面にあることから、財政状況を考慮しながら、市内事業者に対して必要な支援が行えるよう利子補給上限の改正を検討していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	起業・創業の支援		
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－3 商工業の振興		
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。		
事務事業の目的 ・概要	起業・創業者数の増加を図るため、起業するための学びの場を提供するとともに、創業時における支援策を充実させます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	公園坂通りへの出店支援			
	起業・創業の支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	12,542	40,000	令和5年度（年度末時点）	0.85 0.70
令和6年度	決算見込額	13,017	0	令和6年度（年度末時点）	0.75 0.70
令和7年度	当初予算額	12,860	0	令和7年度 4月1日時点	0.75 0.60
	補正後予算額	13,405	0		
	決算額	13,343	0	令和7年度 年度末時点	0.75 0.60
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公園坂通り施設を活用する事業者選考・施設改修工事等の事業進捗率	%	目標値		100	—	—	—	—	—
			実績値		90	100	—	—	—	—
活動 指標	創業支援補助金の交付件数	件	目標値	8	9	10	11	11	11	12
			実績値	11	12	14	13	17		
成果 指標	市主催の創業塾、起業個別相談会、女性起業支援フォーラム、ビジネス交流会の延べ参加者数	人	目標値	548	633	718	803	888	973	1,058
			実績値	575	639	706	844	934		
成果 指標	公園坂通り施設の年間利用者数	人	目標値		600	1,200	24,000	24,000	24,000	24,000
			実績値		0	42,000	25,298	26,394		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	創業塾等の創業関連施策の展開により、市内で創業しやすい環境が整ってきており、各指標に関して目標を達成することができました。公園坂通り施設の利用者は、開業年度である令和5年度には及ばないものの順調に確保できている。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	創業支援補助金の制度改正も含め、市内で創業しやすい環境を整えていきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：農政課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・農業振興基本条例に基づき、農業振興に係る計画と施策の展開を図ります。
- ・認定農業者、農業後継者、新規農業参入者等の担い手農家を確保・育成するため、地域計画の活用、農地のあつ旋・集積、補助・融資制度の活用、日秀新田市民農園での研修・実践等の支援を行います。
- ・男女共同の推進とともに、農産物直売事業を軸とした6次産業化に取り組む農業者（組織）を育成・支援します。又、農業振興のため農業拠点施設の管理・運営を確実に進めます。
- ・手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の活用と保全を積極的に支援します。
- ・日秀新田市民農園の充実を図り、高野山ふれあい市民農園の跡地や水生植物園の利用を踏まえた高野山新田地区の活性化を図ります。
- ・環境保全型農業を推進するため、ちばエコ農産物認証取得等に取り組む農家を支援します。また、あびこエコ農業推進基本計画に基づき、環境保全型農業の普及・促進を図ります。
- ・地産地消を推進するため、あびこ型「地産地消」推進協議会の活動を充実させ、協議会及び農業者が取り組む学校給食への地元農産物供給支援事業や援農事業、交流事業等を拡充します。
- ・農産物残留農薬検査や農産物放射能検査を行い、市民の安全・安心の確保と農業経営への風評等被害の軽減を図ります。又、鶏伝染病対策や植物防疫対策を進めます。
- ・豊かな農地を次の世代へ着実に引き継ぐため、地域計画の見直しを行い、担い手農家へ農地の利用集積及び保全を図ります。又、国営総合農地防災事業をはじめとする農業用施設の機能低下や老朽化等にかかる対策事業、同施設の適切な維持管理を国・県・関係市・土地改良区等と連携して進めます。
- ・植物防疫事業については、近年、農作物への被害が増大しているカメムシ対策を市内で広域的に取り組むとともに、アライグマやハクビシン、イノシシなどの有害鳥獣による農業被害防止対策については千葉県や近隣市と連携し対策を講じます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

課の目標に基づき取組を実施しましたが、依然として、物価高騰等による農業経営の圧迫が生じているため、今後も農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備、更新、先進的な農業機械や施設の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組んでまいります。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上、農業拠点施設等との連携による付加価値の創出や地産地消の推進、担い手の育成と新規就農者の確保などにより、農業の持続的な発展に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業の生産性の維持向上	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	農業の生産性の維持・向上を図るため、集落・地域の話し合いにより、今後の地域の中心となる担い手を定め、農地集積を進める「地域計画」を作成し、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、先進的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水田農業構造改革対策事業		県営担い手育成基盤整備事業
	地域計画策定推進事業		農道整備事業
	農業振興地域整備計画の管理		農業用排水施設維持管理
	農地集積推進事業		手賀沼地域農業農村整備事業
	認定農業者施設整備事業費補助事業		鶏伝染病対策事業
	農業用廃プラスチック適正処理への補助		淡水魚かい類種苗放流事業への支援
	植物防疫業務		農業用排水施設に繁殖する外来水生植物の除去
	無人航空機防除事業		
	幹線排水路護岸改修（利根地区）		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	120,381	2,300	令和5年度（年度末時点）		2.93	0.00
令和6年度	決算見込額	195,073	0	令和6年度（年度末時点）		3.03	1.00
令和7年度	当初予算額	129,678	0	令和7年度	4月1日時点	3.03	1.00
	補正後予算額	142,161	0				
	決算額	131,701	0		年度末時点	3.03	1.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	飼料用米取り組み農家数	人	目標値	30	35	40	45	45	50	50
			実績値	27	34	31	17	6		
成果 指標	飼料用米作付面積	ha	目標値	85	90	95	100	100	105	105
			実績値	86	116	126	84	30		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	農業の生産性の維持・向上を図るため、今後の地域の中心となる担い手を定め、農地集積を進める「地域計画」を作成し、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、先進的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組みました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農業の生産性の維持・向上を図るためには、生産者の支援が必要事項であるため、今後も引き続き推進を行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業経営の安定化	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援・育成し、環境にやさしい農業に取り組めます。 ・地元農産物の付加価値を高めるため、生産者、大学、商工業者、NPOなどの関係者と協力しながら、農業拠点施設を軸とした新たな加工品の開発やブランド化、市内外のイベントでのPRに取り組めます。 ・地元農産物を地域内で消費する地産地消を推進するとともに、市の交流人口を増加させる役割を担う農業拠点施設を活用し、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物の供給や食育推進に取り組めます。 ・収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援に取り組めます。 ・新規就農者を確保・育成するため、就農希望者の計画作成や農地の確保をサポートするとともに、就農後の農地拡大、農業機械・施設の導入、農業技術の習得、そのための資金調達などの支援に取り組めます。		
関連する市の計画等	あびこエコ農業推進基本計画、我孫子市男女共同参画プラン、第2次心も身体も健康プラン、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	農業拠点施設維持管理事業		
	6次産業化推進事業		
	あびこ型「地産地消」推進協議会の充実		
	新規就農支援事業		
	農業・農村男女共同参画の推進		
	農業にかかる放射能対策事業		
	有機栽培等農業者支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	48,457	0	令和5年度（年度末時点）		2.13	2.90
令和6年度	決算見込額	22,718	0	令和6年度（年度末時点）		2.93	1.90
令和7年度	当初予算額	19,725	0	令和7年度	4月1日時点	2.93	1.30
	補正後予算額	32,409	0				
	決算額	28,414	0		年度末時点	2.93	1.30
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	農業拠点施設の年間延べ利用者数	人	目標値	390,000	400,000	405,000	410,000	415,000	415,000	415,000
			実績値	409,805	415,806	408,016	398,942	368,013		
活動 指標	家族経営協定世帯数	人	目標値	40	41	42	43	43	44	44
			実績値	40	40	40	41	41		
活動 指標	農産物の加工施設を有する農業者数	人	目標値	8	8	9	9	9	10	10
			実績値	7	7	8	9	9		
成果 指標	農業拠点施設への出荷農家数	人	目標値	100	103	106	109	110	111	112
			実績値	106	100	97	97	101		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の維持的な発展を推進しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農家の高齢化により農家の減少、生産力が低下することが想定されるため、既存農家への支援を継続していくと共に、新規就農者への支援も継続し、農業経営の安定化に寄与する事業を行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	手賀沼沿いの農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林など一体となった豊かな自然環境を保全していくとともに、自然と農業を活かした観光資源としての活用を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市手賀沼沿い農地利用計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援		
	高野山ふれあい市民農園跡地管理		
	水生植物園管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	18,879	0	令和5年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和6年度	決算見込額	19,484	0	令和6年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和7年度	当初予算額	20,140	0	令和7年度 4月1日時点	0.53 0.00
	補正後予算額	20,054	0		
	決算額	19,552	0	令和7年度 年度末時点	0.53 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼沿い農地活用計画に沿った農地活用面積	㎡	目標値	302,000	302,000	302,000	302,000	302,000	302,000	302,000
			実績値	318,566	318,566	318,566	318,566	318,566		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	今後も引き続き手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の保全活用と農業者支援を進め、我孫子市手賀沼沿い農用地等保全活用事業補助金交付要綱に基づく支援を行います。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼沿い農地活用計画に基づく農地の保全活用と農業者支援及び、高野山新田エリアの豊かな自然環境に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう景観作物の栽培を行い、地域資源の活用推進に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業者と消費者の交流促進	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・誰もが農業に親しみ、楽しみ、育むことができるよう、市民農園の運営や農家開設型ふれあい体験農園の支援を実施し、農業体験の場を提供します。 ・関係団体と連携し、農業拠点施設を中心とした各種イベントを開催し、地元農産物の利用促進と消費者交流の場を提供します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市民農園維持管理事業		
	農家開設型ふれあい農園事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,665	0	令和5年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和6年度	決算見込額	1,321	0	令和6年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和7年度	当初予算額	1,247	0	令和7年度 4月1日時点	0.53 0.00
	補正後予算額	1,339	0		
	決算額	1,243	0	令和7年度 年度末時点	0.53 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	日秀新田市民農園利用区画数	区画	目標値	120	120	120	120	120	120	120
			実績値	101	104	119	110	122		
活動 指標	ふれあい体験農園利用者数	人	目標値	550	630	630	630	630	630	630
			実績値	523	515	460	474	453		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市民が身近で農業を体験できる場を多く確保するために、今後も引き続き日秀新田市民農園の運営及び農家開設型ふれあい体験農園の新規開設、維持管理に関する支援を行っていく必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農園利用の推進は、身近な農業体験の場の提供や荒廃防止等に寄与する事業であると評価されるため、利用者数目標の達成に向けたPRの強化を実施します。また、ふれあい体験農園新規開設や維持管理等への支援及び支援体制の強化を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高野山新田エリア活用事業		
	担当部署名	環境経済部 農政課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	高野山新田エリアの豊かな自然環境と調和する景観作物を栽培するとともに、観光農園などの整備について検討していきます。			
関連する市の計画等	高野山新田地区利用構想			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	高野山新田エリア活用事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.30 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.30 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.30 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.30 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	景観作物の種類	種類	目標値	6	6	7	8	8	8	8
			実績値	6	6	6	6	3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	高野山新田エリアの豊かな自然環境と調和する景観作物を栽培するとともに、観光農園などの整備について推進しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に本市に魅力を感じ愛着を持っていただくために、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術などの近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。